

会員・理科関係者 各位

## 平成28年度 第4回岩手理系女子育成研究会総会及び実践発表研修会について（ご案内）

晩秋の候 貴殿におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日ごろから、岩手理系女子育成研究会(ISG)の事業にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、平成28年度岩手理系女子育成研究会(ISG) 実践発表研修会『社会に開かれた科学教育をめざして』を下記のように開催いたします。

### 記

#### 1 趣旨

岩手理系女子育成研究会（ISG）は、2013年5月に発足以来、女性研究者の裾野拡大をめざして岩手大学男女共同参画推進室と連携し理系女子育成の研究を中心に活動を展開して参りました。岩手大学男女共同参画推進室では、2013年以降、「いわての復興に貢献する女性研究者のための研修事業」を、今年度は文部科学省科学技術人材育成費補助事業として「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」を推進し、北東北の女性研究者・上位職増加を目指しています。

先ごろ学習指導要領改定についての論点整理が報告され、キーワードである「社会に開かれた教育課程」の3つの理念の要点として「①よりよい学校教育を通じてよりよい社会づくりを目指すという理念を社会と共有していくこと。②これからの社会を創り出していく子供たちに求められる資質・能力を明確にしていくこと。③学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること」が出されています。まさに、これらの理念は「男女によるバイアスのない多様で豊かな経験を通して、新しい価値を創造し、しなやかに逞しく未来を拓く岩手理系女子の育成に寄与する」という本会の目的と眼差しをともにする理念であり、学制発布以来、第3次の教育改革といわれる、これからの学校教育において具現化されようとしています。このような時期にISGの活動を振り返り、より効果的な活動のあり方と学校・大学・地域社会との連携について吟味することは意義があると考えます。

**2 主催 岩手理系女子育成研究会、岩手大学男女共同参画推進室**

**3 共催 岩手日日新聞社(予定)、北上ケーブルテレビ(予定)**

**4 日時 2016年12月3日(土) 13:00~15:00 (総会は12:45より)**

**5 会場 岩手大学学生センターA棟2階 G22講義室**

## 6 内容

12 ; 45 (10分) 岩手理系女子育成研究会総会 \*会員出席

13 ; 00 (10分) 発表研修会 開会挨拶

実践発表研修『社会に開かれた科学教育を目指して』趣旨説明

岩手理系女子育成研究会 川村 庸子

13 ; 15 (20分) 実践報告「天体における空間認識を育てる指導」

北上市立北上北中学校 佐藤 玲子 氏

13 ; 45 (20分) 実践報告「最近のドイツ理科教育について」

盛岡市立巻堀中学校 高橋 治 氏

14 ; 15 (15分) 事業報告「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」

岩手大学理事・副学長

岩手大学男女共同参画推進室長

菅原 悦子

14 ; 30 (30分) 意見交換「これからのISGの活動について」

15 : 00 閉会

## 7 その他

報告会に先立ち、12時45分より、第4回岩手理系女子育成研究会総会を開催する。